



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 はごろもフーズ株式会社
 コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部担当 (氏名) 後藤 佐恵子
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 054-354-5000
 平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	41,149	△2.0	1,096	△26.4	1,487	△33.1	701	△44.9
22年3月期第2四半期	42,010	1.2	1,490	674.0	2,223	164.6	1,273	200.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	34.18	—
22年3月期第2四半期	62.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	46,483	23,545	50.7	1,147.33
22年3月期	45,000	22,989	51.1	1,120.23

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 23,545百万円 22年3月期 22,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
23年3月期	—	7.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(注) 前期末の12円50銭は記念配当5円00銭を含んでいます。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,400	2.1	2,300	7.1	2,900	△16.7	1,600	△25.6	77.96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 20,650,731株 22年3月期 20,650,731株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 128,586株 22年3月期 128,307株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 20,522,280株 22年3月期2Q 20,525,022株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 平成23年3月期 第2四半期決算短信(連結) 補足説明	
(1) 売上高・利益の増減要因等	11
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、消費者の節約志向・低価格志向が依然として強いなか、「人と自然を、おいしくつなぐ」をキーワードとし、消費者へのメニュー提案や生鮮品・惣菜など関連する売場での販売を通して需要の喚起に努めました。また、グループ内事業再編により、第2四半期から「はごろもフーズ」ブランドで「花かつお・海苔・ふりかけ類」の販売を始めました。しかし、価格競争の激化もあり、売上高は411億49百万円（前年同期比2.0%減）となりました。原価面では、主原料のかつおとデュラム小麦粉の価格が前年同期を下回り、売上総利益は増加しました。販売面では、重点製品の販売奨励金を増加（同8.4%増）させたことにより、営業利益は10億96百万円（同26.4%減）となりました。

前期末で負ののれんの償却が終了したこと等もあり、経常利益は14億87百万円（同33.1%減）、四半期純利益は7億1百万円（同44.9%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群	期別	前年同期（累計）		当第2四半期（累計）		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	18,815,379	44.8	18,290,635	44.4	△ 524,744	△ 2.8
		デザート	2,837,247	6.7	2,901,879	7.1	64,632	2.3
		パスタ&ソース	4,350,643	10.4	4,268,130	10.4	△ 82,512	△ 1.9
		総菜	3,132,559	7.5	3,019,915	7.3	△ 112,644	△ 3.6
		花かつお・海苔・ふりかけ類	3,607,921	8.6	3,188,436	7.7	△ 419,484	△ 11.6
		ギフトセット・その他食品	2,474,354	5.9	2,513,005	6.1	38,650	1.6
		計	35,218,105	83.9	34,182,003	83.0	△ 1,036,102	△ 2.9
	業務用食品	5,208,743	12.4	5,504,396	13.4	295,652	5.7	
	ペットフード・バイオ他	1,279,059	3.0	1,109,767	2.7	△ 169,292	△ 13.2	
	計	41,705,909	99.3	40,796,166	99.1	△ 909,743	△ 2.2	
その他		304,546	0.7	353,425	0.9	48,878	16.0	
合計		42,010,455	100.0	41,149,591	100.0	△ 860,864	△ 2.0	

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、きはだ鮭製品が「シーチキンLフレック」のパック品を中心に前年同期を上回る販売となりましたが、「シーチキンマイルド」をはじめとするかつお製品とびんなのが鮭製品が全般に低調な販売となり、当製品群の売上高は前年同期比2.8%減少しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズが好調に推移し、また、新製品の「プレーンヨーグルトのための」シリーズを投入したこともあり、当製品群の売上高は同2.3%増加しました。「パスタ&ソース」では、ソースが好調に推移しましたが、パスタの販売価格の低下により、当製品群の売上高は同1.9%減少しました。「総菜」では、青魚の「健康」シリーズが低調に推移し、当製品群の売上高は同3.6%減少しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、花かつお・海苔が価格競争の激化により販売機会が減少し、当製品群の売上高は同11.6%減少しました。「ギフトセット・その他食品」では、無菌米飯の「パッとライスやわらかごはん」の販売が好調に推移したことにより、当製品群の売上高は同1.6%増加しました。「業務用食品」では、CVSなどの大手ユーザー向けに「シーチキン」レトルトパウチ製品やスイートコーン缶詰類の販売が好調に推移し、当製品群の売上高は同5.7%増加しました。「ペットフード・バイオ他」では、輸入ペットフードの販売が不振で、当製品群の売上高は同13.2%減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の内容

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より14億82百万円増加して、464億83百万円となりました。これは、主にたな卸資産が7億60百万円減少したものの、現金及び預金が11億1百万円、売掛債権が5億56百万円、有形固定資産が3億56百万円、投資有価証券が3億92百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より9億26百万円増加して、229億37百万円となりました。これは、主に未払金が16億77百万円、未払法人税等が4億84百万円減少したものの、買掛債務が4億30百万円、短期借入金が1億59百万円、販売促進引当金が12億50百万円、長期借入金が8億円、その他の負債が3億32百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より5億55百万円増加して、235億45百万円となりました。これは、主に繰延ヘッジ損益が1億16百万円減少したものの、利益剰余金が4億44百万円、その他有価証券評価差額金が2億23百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.1%から50.7%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ11億1百万円増加し、22億30百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は10億60百万円となりました。これは、主に未払金の減少や売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益やその他の引当金が増加したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は6億42百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により増加した資金は6億83百万円となりました。これは、主に長期借入れによる収入によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も厳しい販売環境が予想されますが、当社グループは、冬場の需要期に向けてメニュー提案などを通じ、きめ細かな販売促進活動を展開し、重点製品の拡販に努めます。

よって、平成23年3月期の通期連結業績予想については、平成22年5月11日の発表から変更いたしません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

② 販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ618千円減少し、税金等調整前四半期純利益は13,988千円減少しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は15,591千円です。

(「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分)および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成20年3月10日)を適用しています。

なお、この変更による影響額はありません。

(四半期連結損益計算書の表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)にもとづく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しています。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,230,950	1,129,726
受取手形及び売掛金	16,372,529	15,816,014
商品及び製品	4,715,391	5,343,979
仕掛品	168,556	164,243
原材料及び貯蔵品	2,911,140	3,047,719
その他	1,657,756	1,829,355
貸倒引当金	△9,144	△24,086
流動資産合計	28,047,179	27,306,953
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,960,178	4,953,446
その他(純額)	5,674,979	5,324,717
有形固定資産合計	10,635,157	10,278,164
無形固定資産	281,202	289,114
投資その他の資産		
投資有価証券	7,176,209	6,783,807
その他	369,234	366,352
貸倒引当金	△25,868	△24,008
投資その他の資産合計	7,519,575	7,126,150
固定資産合計	18,435,935	17,693,429
資産合計	46,483,114	45,000,383
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,674,431	12,243,480
短期借入金	245,850	86,680
未払金	3,132,989	4,810,157
未払法人税等	584,522	1,069,469
売上割戻引当金	72,574	41,303
販売促進引当金	1,312,280	62,172
賞与引当金	451,470	426,702
その他の引当金	—	37,500
その他	781,736	592,950
流動負債合計	19,255,856	19,370,415
固定負債		
長期借入金	800,000	—
退職給付引当金	557,658	498,729
役員退職慰労引当金	562,214	539,219
資産除去債務	15,669	—
その他	1,745,985	1,602,187
固定負債合計	3,681,528	2,640,137
負債合計	22,937,384	22,010,552

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,512
利益剰余金	18,962,030	18,517,044
自己株式	△127,500	△127,193
株主資本合計	21,218,711	20,774,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,835,150	2,611,871
繰延ヘッジ損益	△96,906	20,074
為替換算調整勘定	△411,225	△416,148
評価・換算差額等合計	2,327,018	2,215,797
純資産合計	23,545,730	22,989,830
負債純資産合計	46,483,114	45,000,383

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	42,010,455	41,149,591
売上原価	26,716,324	25,735,240
売上総利益	15,294,131	15,414,350
販売費及び一般管理費	13,804,079	14,317,863
営業利益	1,490,052	1,096,487
営業外収益		
受取利息	399	371
受取配当金	114,730	139,769
負ののれん償却額	251,809	—
持分法による投資利益	82,291	13,674
受取手数料	218,360	191,327
その他	104,600	75,313
営業外収益合計	772,192	420,457
営業外費用		
支払利息	7,643	2,762
売上債権売却損	8,758	4,123
賃貸収入原価	11,419	14,185
その他	10,620	8,156
営業外費用合計	38,440	29,227
経常利益	2,223,803	1,487,717
特別利益		
貸倒引当金戻入額	165	14,941
固定資産売却益	749	305
補助金収入	6,844	—
特別利益合計	7,759	15,247
特別損失		
貸倒引当金繰入額	132	1,860
固定資産除却損	7,044	20,863
固定資産売却損	22,317	—
投資有価証券売却損	155,802	—
投資有価証券評価損	2,291	6,779
たな卸資産廃棄損	—	192,755
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,370
特別損失合計	187,588	235,627
税金等調整前四半期純利益	2,043,975	1,267,336
法人税等	770,749	565,820
少数株主損益調整前四半期純利益	—	701,516
四半期純利益	1,273,226	701,516

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,043,975	1,267,336
減価償却費	421,992	385,640
負ののれん償却額	△251,809	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,860	△13,081
その他の引当金の増減額 (△は減少)	1,191,929	1,350,571
受取利息及び受取配当金	△115,130	△140,141
支払利息	7,643	2,762
為替差損益 (△は益)	81	840
持分法による投資損益 (△は益)	△82,291	△13,674
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,903,886	△556,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△99,736	677,405
仕入債務の増減額 (△は減少)	395,477	430,951
未払金の増減額 (△は減少)	△514,747	△1,781,190
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,370
その他	958,819	351,501
小計	2,055,177	1,975,776
利息及び配当金の受取額	114,319	139,565
利息の支払額	△5,917	△2,226
法人税等の支払額	△565,373	△1,052,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,598,205	1,060,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△250,808	△591,022
投資有価証券の取得による支出	△11,910	△11,525
投資有価証券の売却による収入	261,933	—
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	9,032	3,724
その他	△4,943	△43,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,303	△642,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000,000	—
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△340,830	△40,830
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,440	△18,405
自己株式の取得による支出	△1,572	△306
配当金の支払額	△153,942	△256,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,513,785	683,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	△789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,694	1,101,223
現金及び現金同等物の期首残高	1,275,993	1,129,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,362,687	2,230,950

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 平成23年3月期 第2四半期決算短信 (連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位：百万円、%)

	前年同期 (累計)	当第2四半期 (累計)	前年同期比		前年同期比増減要因等
			金額	率	
売上高	100.0 42,010	100.0 41,149	△860	98.0	販売函数 △1.2% 製品群別売上高 ・ツナ △2.8% △524百万円 ・花かつお・海苔・ふりかけ類 △11.6 △419 ・ペットフード・バイオ他 △13.2 △169 ・総菜 △3.6 △112 ・業務用食品 +5.7 +295
売上原価	63.6 26,716	62.5 25,735	△981	96.3	・売上原価率：原材料価格の低下により △1.1ポイント
売上総利益	36.4 15,294	37.5 15,414	120	100.8	
販売費及び 一般管理費	32.9 13,804	34.8 14,317	513	103.7	・販売奨励金 +8.4% +709百万円 ・広告宣伝費 △29.1 △294 ・一般管理費 +2.1 +60
営業利益	3.5 1,490	2.7 1,096	△393	73.6	
営業外損益	1.8 733	0.9 391	△342	53.3	(収益) ・前年に負ののれん償却額 251百万円計上 ・持分法による投資利益 △83.4% △68百万円 ・受取手数料 △12.4 △27
経常利益	5.3 2,223	3.6 1,487	△736	66.9	
特別損益	△0.4 -179	△0.5 -220	△40	122.6	(損失) ・たな卸資産廃棄損 192百万円計上 ・前年に投資有価証券売却損 155 "
税金等調整前 四半期純利益	4.9 2,043	3.1 1,267	△776	62.0	
法人税等	2.0 770	1.4 565	△204	73.4	
四半期純利益	3.0 1,273	1.7 701	△571	55.1	

設備投資額	340	362	22	106.6	無形固定資産含む
減価償却費	421	385	△36	91.4	無形固定資産分含む

《ご参考》

(単位：円/kg、%)

きはだ鮪 価格	630.7	651.2	20.5	103.3	出所：水産庁「産地水産物調査」 各冷凍品の4～9月平均価格 (当社で月次価格を水揚量により加重平均した)
かつお 価格	151.0	141.5	△9.5	93.7	

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(百万円、%)

	前年同期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減額	前年同期比
販売奨励金 (引当金繰入額含む)	8,419	9,129	709	108.4
広告宣伝費	1,014	719	△ 294	70.9
荷造運賃	1,139	1,160	20	101.8
保管料	346	364	17	105.0
役員報酬	167	188	20	112.2
給料及び手当	901	880	△ 20	97.7
賞与引当金繰入額	252	271	18	107.4
退職給付費用	109	108	△ 0	99.1
旅費及び交通費	148	180	32	121.6
減価償却費	155	128	△ 26	83.1
賃借料	237	243	6	102.7
研究開発費	97	92	△ 4	95.5
その他	814	849	35	104.3
合計	13,804	14,317	513	103.7